

課題解決提案書

令和7年(2025年)3月
沖縄市

目次

提案背景.....	3
提案概要.....	3
一般向けオープンデータアイデアソン.....	4
取り組んだテーマ「沖縄市のまちの変化」.....	4
取り組んだテーマ「医療福祉」.....	5
取り組んだテーマ「観光」.....	6
取り組んだテーマ「空き家」.....	7
取り組んだテーマ「子育て」.....	8
取り組んだテーマ「商店街」.....	9
学生向けオープンデータアイデアソン.....	10
取り組んだテーマ「中央市街の高齢化」.....	10
取り組んだテーマ「大型商業施設が少ない」.....	11
取り組んだテーマ「バス運賃が高い」.....	12

提案背景

「沖縄市オープンデータアイデアソン2024」「沖縄市学生向けオープンデータアイデアソン2024」にて検討された、沖縄市の地域課題を解決する案を提案する。

アイデアソンとは、「アイデア」と「マラソン」を掛け合わせた造語です。テーマを決めてアイデアを出し合い、それらをまとめて形にしていくワークショップになります。

沖縄市のオープンデータとダッシュボードなどを活用して、沖縄市の課題をデータに基づいて発見してもらい、その課題を解決する案を提案してもらいました。
「沖縄市オープンデータアイデアソン」の進め方は以下の通りです。

- ①テーマに関連する課題を話し合い仮説を設定する
- ②仮説に対するデータ収集する
- ③データに基づいた課題を設定する
- ④その課題を解決するためのアイデアを考える

提案概要

一般向けオープンデータアイデアソン

提案数:6件

提案テーマ:

- 子育て世帯が暮らしやすい
- 沖縄市のまちの変化
- 医療福祉
- 観光
- 商店街
- 空き家

学生向けオープンデータアイデアソン

提案数:3件

提案テーマ:

- 中央市街の高齢化
- 大型商業施設が少ない
- バス運賃が高い

一般向けオープンデータアイデアソン

取り組んだテーマ「沖縄市のまちの変化」

現状
人数の少ない事業所は減少、通勤の流出が多い、中小企業はH10～R3で減っている。
課題
沖縄市の産業の緩やかな停滞
解決案
まちの新陳代謝を上げるために、Meet-upイベントを増やす、沖縄市限定のクラウドファンディングを立ち上げる、多国籍のビジネス交流プログラムを行う。
使用したデータ
沖縄市 ● 沖縄市オープンデータ「沖縄市統計書 開設時期別事業所数 平成28年」 ● 沖縄市オープンデータ「人口」 ● 沖縄市オープンデータ「通勤通学による流入出」 ● 沖縄市オープンデータカタログサイト「街区別人口データ」 ● 沖縄市HP「令和4年度版沖縄市統計書の「4.事業所および商工業」」 その他 ● 沖縄県オープンデータ「新規食品営業許可一覧」 ● 沖縄県オープンデータ「食品営業許可・届出全一覧」 ● 沖縄県オープンデータ「新規把握事業所数」 ● おきなわ観光地域カルテ「沖縄市来訪者数」
議論された内容
● 沖縄市の文化財ってあるだろうか。 ● 県総合運動公園をうまく使っている。 ● 沖縄市の文化を知らない。 ● 駐車場が少ない。違法駐車の数々はニーズにつながるのでは。 ● エイサーのまちの昔と今。

取り組んだテーマ「医療福祉」

現状
八重島地区、池原地区の病院数が全国に比べると少なく、内科と外科が特に少ない。
課題
病院数が全国よりも少ない。
解決案
病院の待ち時間が長く、病院に行きづらい人のために、予約システムを整備する。
使用したデータ
沖縄市 ● 沖縄市オープンデータ「人口」 ● 沖縄市オープンデータ「医療施設」 その他 ● JMAP「地域医療情報システム」
議論された内容
● 保険料・医療費が高い。 ● 簡単にセカンドオピニオンを聞けるだろうか。 ● 僻地医療について。 ● 初診はどこに行ったらいいのか分からない。 ● どの病院を選んだら良いか分からない。 ● お薬手帳のアプリがあるが、多様化していて統一化がされていない。 ● 高齢者の独居問題について。 ● 正しい医療知識について。

取り組んだテーマ「観光」

現状
データで可視化がされていないから、その施設の周りにお金が落ちているのかわかる化されていない。
課題
「沖縄アリーナ」や「沖縄こどもの国」の設備力UPと集客に対して、沖縄市の潤いがみられない。
解決案
沖縄市の観光、ホテル飲食への消費を見える化するために、実際に観光で行ったルートを記録できるアプリを作成する。
使用したデータ
沖縄市 ● 沖縄市HP「沖縄市の観光への投資額」 ● 沖縄市HP「沖縄市内の観光施設年間来客数」 ● 沖縄市HP「多言語対応」 ● 沖縄市HP「沖縄市のスポーツ施設」 その他 ● 沖縄県「宿泊施設実態調査」 ● 楽天トラベル ● 一般社団法人沖縄市観光物産振興協会「沖縄市観光物産振興協会会員」 ● KOZA WEB「観光スポット」 ● KOZA WEB「イベント数」 ● KOZA WEB「バリアフリーマップ」 ● Runtrip「沖縄市のランニングコース」
議論された内容
● インバウンドを視野に入れているのか。 ● 地元のニュースを多言語化。 ● 観光案内のバリアフリー（シュワ、外国語、車椅子など） ● 沖縄市の民間企業で観光業がどれくらいあるか。 公共交通について、観光客が来やすいだろうか。 ● 沖縄市に宿泊する魅力はあるだろうか。 ● 近隣自治体とのブランド力の差は。

取り組んだテーマ「空き家」

現状
壊すべき空き家は補助金を活用し、壊されている。解体補助金は1ヶ月で使い切っている。有効活用している空き家の割合は高い。
課題
使える空き家と使えない空き家がある（※住めるが家主の都合で空き家状態になっているものが「使える空き家」、住める状態にないものが「使えない空き家」）
解決案
使える空き家は有効活用し、使えない空き家は解体する。補助金を増やすことで、解体を希望する人の空き家の解体が進み、跡地の有効活用につながる。
使用したデータ
沖縄市 ● 沖縄市HP「空き家バンク」 ● 沖縄市HP「沖縄市空家等除却費補助金」 その他 ● 厚生労働省「空き家等の現状について」 ● e-stat「住宅・土地統計調査 / 令和5年住宅・土地統計調査 / 住宅及び世帯に関する基本集計 全国・都道府県・市区町村」
議論された内容
● 本当に空き家で困っているのか。 ● 町の住みやすさについて。 ● 景観の問題について。 ● 不審火や犯罪について。 ● 貸し出すことで子どもの居場所になる。

取り組んだテーマ「子育て」

現状
児童館が4つしかなく、0～14歳人口の多い地域に、児童館がない地域がある。浦添市は、沖縄市よりやや人口が少ないが、児童館は11箇所ある。
課題
児童館が足りない
解決案
子ども達が安心して遊べる場所が少ないので、桃原の地域に新しい児童館を建てる。
使用したデータ
沖縄市 ● 沖縄市オープンデータ「こどもの居場所一覧」 ● 沖縄市オープンデータ「市立小学校・中学校一覧」 ● 沖縄市オープンデータ「放課後児童クラブ・児童館一覧」 その他 ● 国統計局人口データ(浦添市)
議論された内容
● 若年妊婦について。 ● 子育て世帯への経済支援(学校給食、教材費、部活支援など) ● 子育て世帯の一日の時間の使い方。 ● 児童のコミュニティについて。 ● 子どもと地域の繋がりが少ない。

取り組んだテーマ「商店街」

現状
商店街の高齢化が進んでいる。
課題
商店街の活性化
解決案
若い人が過ごしやすい空間を作るために、各店舗の前に座れるスペースを作ったり、「商店街」を大学のゼミのテーマにしてもらい、3D都市モデルでのアイデアコンテストなど、学びとITのまちとしてのPRを行う。
使用したデータ
沖縄市 ● 沖縄市HP「沖縄市中心市街地活性化基本計画」 ● オープンデータダッシュボード「人口」 その他 ● なし
議論された内容
● 米国軍人との接点。 ● 学生向けの場所が少ない。 ● 商店街全体の統一感の欠如。 ● 市民会館や八重島公園との一体感。 ● 駐車場不足。 ● コミュニティ形成について。 ● イベント効果の持続性。 ● 夜の街のイメージ。

学生向けオープンデータアイデアソン

取り組んだテーマ「中央市街の高齢化」

属性	大学生・高等専門学校生
住居区分	市内在住:2名、市外在住:1名

現状

胡屋、中の町などは高齢化しているが、知花、高原は若者が増えている。

課題

産業の衰退、景観の悪化

解決案

中央市街にスポーツ大学を作り、その周りにスポーツ系の企業を誘致する。その大学の学生が、周辺企業へインターンしやすくなり、就職する人が増え、若者が増える。さらに、スポーツ施設の利用者も増えることにつながる。

使用したデータ

沖縄市

- 沖縄市ダッシュボード「年齢階級別人口」
- 沖縄市ダッシュボード「スポーツ施設一覧」

その他

- 全国大学数のデータ

議論された内容

- 沖縄エイサー祭りのトイレの混み具合について。
- 中央市街の高齢化と建物の老朽化。
- 交通渋滞。
- 胡差に駐車場が少ない。
- 泡瀬にバス停がない。
- 自主学習スペースが少ない。
- 沖縄アリーナ付近には何もない。

取り組んだテーマ「大型商業施設が少ない」

属性	高校生
住居区分	市内在住:1名、市外在住:1名

現状

沖縄市は、大型商業施設が1店舗だけ。うるま市、浦添市と比較すると飲食店や小さなスーパーが多く、種類も多い。一年間で新しく営業を開始した飲食店が多い。決められている土地利用の区分が、住宅＞工業＞商業、となっており、住宅が多い。

課題

周辺地域の大型商業施設へのアクセスが悪い。

解決案

平日の日中の時間帯に、商業施設へ行けるバスの便を増やす。なぜなら、周辺に大型商業施設があるのに、市内に商業施設を立てるとなると、お客の取り合いになってしまうから。

使用したデータ

沖縄市

- 沖縄市ダッシュボード「土地利用状況」

その他

- 沖縄県オープンデータ「食品営業許可一覧」
- ホームメイトの市場調査データ
- Timesの駐車場検索サービス

議論された内容

- バスの本数が少ない。
- 胡差付近に駐車場があるか分からない。
- 新しくできた店の情報をあまり聞かない。
- 「沖縄市内」が広すぎる。
- 商店街のシャッター街（夜は賑やか）
- 図書館の辺りの治安が良くない。
- 学校と地域の交流が少ない。

取り組んだテーマ「バス運賃が高い」

属性	中学生
住居区分	市内在住:1名、市外在住:1名

現状
県内と県外を比較したら、県内の方がバス代が高かった。住民より、観光客の方が利用率が高く、住民の中では、通学で使う人が多い。
課題
バスの利用率が下がったので、バス代が高くなった。
解決案
買い物のためにバスを利用する人が少ないため、定期券を更新した際に商品券を受け取れる仕組みを作る。
使用したデータ
沖縄市 ● 沖縄市HP「沖縄市循環バス」 その他 ● 沖縄県「公共交通の通勤コストと定期率」 ● 内閣府「公共交通の利用状況」
議論された内容
● 公園にたくさんゴミが落ちている。 ● 学生が集まれる場所が少ない。 ● 夜帰る時、該当がついていない。 ● 空気が綺麗なところもあるが、臭いところもある。 ● 学校の先生が忙しそうで声をかけづらい。 ● 学校の先生の給料は働いている量に比例していない。 ● 学校前にある点字ブロックが薄くなっている。 ● 遠征の代金が高い。